



鋭い質問を行った12人の中学生議員たち

議長

橋小学校の児童たちの安全が確保されましたが、変則交差点となつてしまっている状況です。

信号の待ち時間が長い状況については、工藤議員が細かく計測されたように、現在、牛久市方面からくる野田牛久線が優先道路となつており、そこに交差する取手つくば線の信号の待ち時間が、大変長くなっている状況です。現在の交差点は、暫定的なもので、板橋不動院の駐車場から「みらい平」までの道路が完成された際には、この交差点は、完成形の十字路となりますので、スムーズな交通が可能となり、渋滞および信号の待ち時間の解消がされるものと思われれます。今後とも、板橋不動院の駐車場から「みらい平」までの道路が、1日でも早く完成するよう事業主体である茨城県に対し、強く要望していきます。

なお、板橋不動院駐車場から出るときの信号が赤のときの対応ですが、道路信号は、道路に対し交通制御を行うもので、この駐車場から出ることは、道路による交通管制の対象となりません。そのため、この駐車場から県道に出る際は、左右をよくご確認いただき、安全を確保してから出ていただくようお願いし

ます。

次に、板橋不動院前のY字路ですが、このY字路は、住宅密集地区にあり、道路幅を広げる工事など早急な対応は難しい場所ではあると思いますが、「みらい平」から「南太田」へ向かう道路が開通し、先ほどの変則十字路が完成十字路になることにより、渋滞はかなり解消できる

議事日程がすべて終了するにあたり、片庭市長からあいさつがありました。

本日は、つくばみらい市中学生議会にご参加いただきまして、心からお礼申し上げます。本中学生議会は、中学生の皆さんに、模擬議会の体験をおとして、市政や市議会に対する関心を深め、まちづくりへの参加意欲を高めていただくこと、平成21年度から実施し、今回で4回目となります。

本日傍聴いただいた皆さんには、中学生議員の素晴らしい質問、そして堂々とした姿に、つくばみらい市の明るい将来の姿を確信されたのではないのでしょうか。

私も、ここに出席いただいた中学生の皆さんをはじめ、多くの中学生が、つくばみらい市の将来について考えていただいていること、たのしく、そして

ものと考えています。しかしながら、バイパス開通までには時間がかかりますので、渋滞緩和策や安全対策について、早急な対応をしていただくよう、道路管理者である茨城県や警察署など関係機関に対し、強く働きかけていきます。

また、渋滞の原因となるY字路の合流や右折車へのゆずりあ

うれしくも思います。

さて、中学生議員の皆さんは、先週末から夏休みに入りましたが、この夏休みは、3年生にとつて、自分の進路について真剣に考え、悩み、家族と相談する大切な時間です。将来自分がどんな道に進みたいのか、そのためにはどんな勉強、どんな知識が必要なのか、しっかりと考え、その目標に向けて、自分の夢に向かって、進むべき高校に進学できるよう頑張ってください。

2年生の方々も、自分の進路を考えながらも、今しか経験することのできない部活動に、そして勉強に、がむしゃらに取り組んでほしいと思います。

そして、大切な友達を沢山つくっていただき、人生の宝としてください。

いなど、ドライバーのマナー向上により渋滞が改善する部分もありますので、交通安全キャンペーン運動などを通じて、ドライバーに対する啓蒙活動も併せて実施していきます。

※今回は議事の概要をお知らせしました。当日の議事録は今後、市のホームページに掲載予定です。

私は今、市長として市政運営を行っていますが、私の思い、それは市民の皆さんが「つくばみらい市に住んでよかった」、「これからもつくばみらい市に住み続けたい」と思っているだけのようなまちづくりをすることです。そのためにも、一生懸命、新しいつくばみらい市づくりに取り組んでいます。

中学生議員の皆さんも、大きな夢があると思います。夢は見るためのものではありません。かなえるためにこそ、あるものです。皆さんの持っている夢の実現に向かって、失敗を恐れず、大いにチャレンジしてください。

私は、皆さんの夢の実現を、全力で応援します。頑張ってください。